

70 ～浄蓮寺～ 10の組



浄土真宗のお寺で徳善寺（豊栄町能良）より分寺した。大永5年（1525）の建立で元は今井家（11の組）下にあった。寛文4（1664）年に現在の10の組の金定に移転。享保4（1720）年にも災上。昭和31年にも落雷のため災上している。

71 ～小田尊順師 記念碑～ 浄蓮寺・境内



小田の地に天保8（1836）年に生まれた。5歳で浄蓮寺に入り教順と名乗る。20歳の時 京都の西本願寺に 勤め 仏乗とし 本願寺執行長となるにあたって 尊順の号を賜った。 浄蓮寺に里帰りして小田区民は 盛



に出迎えた。
明治43年 浄蓮寺に 記念碑が建てられた。大阪で 大正12年に没す。



72 ～慰霊 碑～ 浄蓮寺・山門横



日清・日露戦争に小田から出征して戦死された112名の戦没者の慰霊碑である。昭和36年建立委員会を結成…小田区として建立し 慰霊。

大

73 ～大 安慰～ 浄蓮寺・境内



小田地区で実施された 圃場整備（昭和52～62年）126haの工事中に 発掘され多くの「無縁仏」を集めて「大安慰」として祀ったものである。 慰霊祭を行っている。

74 ～ 奥原観音社 ～ 10の組



岩屋にあったので岩屋観音とも呼ぶ。しかし奥原という行者がいたので奥原観音も呼ばれている。その後 堤（12の組）に行く本道に観音様の辻堂を建てていたが現在は宇都さん（10の組）の西の山の頂上に移されている。

75 ～比丘尼（石斧発掘地）～ 10の組



昔 人柱になった娘を祀ったに 阿弥陀堂がここあった。この地を「びくに」と云う。今は 古い墓しか残っていない。また比丘尼池が残っているが 空池である。

76 ～ 発掘された石斧 ～ 10の組



神迫比久尼地区出土（2500～5000年前）
広島文化財研究室 田淵実夫氏の 証明
火越石（左） 石斧（中） 桂状快入斧（右）
（石斧とは 斧（おの）の刃に 用いた石器）